

1770

保険の悩みは、ほっとけん。

新築に悩まされたら、ほっとけん。

ニュース和歌山

〒640-8570 和歌山県和歌山市 164,000部
 (定価) 0073-433-4882 毎週土曜、日曜第2・4号発行
 (広告) 0073-433-2051

2015 6. 13 土
 〒640-8570 和歌山県和歌山市 164,000部
 (定価) 0073-433-4882 毎週土曜、日曜第2・4号発行
 (広告) 0073-433-2051

- 2面-定食部利用へ 相談センターも今夏開始
- 3面-和歌山市民図書館 読書力パーにスポンサー
- 4・5面-PF企業-お中元対策
- 8・9面-政調で再総務省女性専夫 北原美希*



「食を支える農業を盛り上げたい」と田村さん

未来耕す青年農業者

次世代育成 更生支援も

農家の減少と高齢化が進む中、20代の青年農業者たちが元気に、紀の川市のグリーン・ジャンクションと和歌山市のファニー・ファーマーズ・プロジェクト。県内の農業従事者がこの40年で7万5000人から3万6000人と激減し、60歳以上の約7割を占める現状を受け、共に新規就農者を増やし、独自の手法で農業の未来を切り拓こうと情熱を注ぐ。

紀の川市にある龍門山でいえば、農家の収入を上げるには、意見地区で東京ドーム約2個分の畑を、20歳で独立した。管理する若手農業者集団「グリーン・ジャンクション」農産物の生産、加工、販売をまとめて行う農業の6次産業化に加え、非行やひきこもりなどに課題を抱える若者を受け入れ、次世代を育てる活動に取り組み、田村草也(たかぎ 代表)29は「中学のころにやんちゃした経験があるので、社会からシラケルをはられた若者の気持ちがよくわかる。仲間を増やし、農業を他の業種に負けない産業にしたい」と意気込む。

田村さんが農業を始めたのは中学卒業後、農家でアルバイトをしていた時、「自分で販路を開拓

動画で新規就農サポート

一方、20代の青年農業者4人でつくるファニー・ファーマーズ・プロジェクトは今年3月に結成。新世代の農業者を増やすため、農作業の方法を一から紹介する動画の作成に取り組みしている。代表の岩崎淳平さん(29)は「就農を支援し、農家のネットワークを作りたい。天災などで不作だった地域の農家を支援するなど助け合いの輪を広げ、農家の収入安定につなげる」と語る。

県内の玉子せんべい

和菓子作りや抹茶体験も

和菓子作りや抹茶体験も

和菓子作りや抹茶体験も

本紙が報じた和歌山の50年をまとめた一冊

ニュース和歌山 伝えた半世紀